

ねん がつ にち
2020年4月11日
ふっかつつやさい
復活徹夜祭
きくち いさおだいしきょう せつきょう
菊地 功 大司教 ミサ説教

みなさま しゆ ごふっかつ
皆様、主イエスの御復活おめでとうございます。

くらやみ ひか かがや ふっかつ きぼう ひかり
暗闇に光り輝く復活のろうソクは、わたしたちの希望の光です。

きぼう あたら きぼう くらやみ なか
その希望は、キリストがもたらす新しいのちへの希望です。暗闇の中
ふっかつ ひかり かこ ふっかつ しゆ
で復活のろうソクの光を囲み、復活された主がここにおられることを
こころ かん あたら まね い
心で感じながら、わたしたちは新しいのちに招かれ、また生かされて
いることをあらためて思い起こします。

とし であ おお ほう じゆんび きかん へ
いつもの年であれば、キリストと出会った多くの方が、準備の期間を経
うえ ふっかつつやさい せんれい う あたら たびじ あゆ はじ
た上で、復活徹夜祭で洗礼を受け、新しいのちの旅路を歩み始め、
きょうかいきょうどうたい いちいん むか い
教会共同体の一員として迎え入れられます。

ことし せんれいしき えんき せんれいしがんしゃ ほう
今年は洗礼式が延期となってしまった洗礼志願者の方が、ほとんどで
おも たいへんざんねん おも
あろうと思います。大変残念に思っています。

め み かたち きょうどうたい むか みな
目に見える形で共同体にお迎えできないのですが、しかし、皆さんの
したが い ねが からだ いちぶ
「キリストに従って生きたい」という願い、「キリストの体の一部とな
ねつゐ せんれいしがんしゃ みな きょうかいきょうどうたい
るのだ」という熱意が、洗礼志願者の皆さんをすでに教会共同体
いちいん こんや せんれい よてい みな きょうだいしまい
の一員としています。今夜、洗礼を予定されていた皆さんを、兄弟姉妹
なかま よろこ きょうかいきょうどうたい むか
として、そして仲間として、喜びのうちに教会共同体へお迎えした
おも
いと思います。

ざんねん ことし にほん ふく せかいかくち たいせつ よる おお
残念ながら、今年は、日本を含め世界各地において、この大切な夜を、多

くのキリスト者が、そして多くの洗礼志願者が、聖堂ではなく、自宅で過
ごさざるを得えなくなっています。

実際に皆で集まることが難しいいまだからこそ、信仰のきずなによつて
互いが一つに結ばれていることを思い起こしましょう。わたしたちは、「古じ
い自分がキリストと共に十字架に付けられ」、「キリストと共に生きるこ
とに」なりました。そのキリストは、数多くいるキリストではなく、唯一
のキリストです。わたしたちは、どこにいたとしても、常に一つのキリスト
の体に結びあわされていることを、思い起こしましょう。

それぞれの場で捧げる今宵の祈りは、ともにキリストの体を作り上げる
兄弟姉妹としての連帯へと、わたしたちを招きます。弟子たちを派遣す
る主が約束されたように、主は世の終わりまで、いつも共にいてくださ
います(マタイ28章20節)。暗闇に輝く希望の光である復活された主
は、わたしたちを見捨てることはありません。主の約束に信頼しながら、一
つのキリストの体にあずかる者として、互いを思いやり、支え合いなが
ら、困難に立ち向かいましょう。

死に打ち勝つて復活された主イエスは、新しいのちへの希望を、わた
したちに与えています。困難な状況の中にあるからこそ、わたしたち
は孤独のうちに閉じこもることなく、連帯のきずなをすべての人へとつな
げていき、死を打ち砕き、いのちの希望を与えられるキリストの光を、
社会の中で高く掲げたいと思います。

先ほど朗読されたローマ人への手紙においてパウロは、洗礼を受けた者
がキリストとともに新しいいのちに生きるために、その死にもあずかるの
だと強調されています。

ごふっかつ いわ しんこう かくしん しゅ ふっかつ でき
すなわち御復活のお祝いとは、信仰の核心である主の復活という出来
ごと よろこ いわ お
事を喜び祝うだけに終わるものではありません。わたしたちは、キリスト
あたらし い し ふっかつ
において、新しいのちに生きるものとなるように、その死と復活にもあ
ぐたいてき あゆ はじ もと
ずかるために、あらためて具体的な歩み始めるようにと求められていま
むす
す。だからこそパウロは、わたしたちはいま、「キリスト・イエスに結ばれて、
かみ たい い しる
神に対して生きている」と記します。わたしたちには、立ち止まらず、歩
はじ もと
み始めることが求められています。

さき ろうどく いで き たい かた かみ ことば
先ほど朗読された出エジプト記には、モーセに対して語られた神の言葉
しる
が記してありました。
む さけ ひとびと めい しゅっぱつ
「なぜ、わたしに向かって叫ぶのか。イスラエルの人々に命じて出発さ
せなさい。」

みちび どれいじょうたい のが たみ
モーセに導かれて奴隷状態から逃れようとしたイスラエルの民は、
きょうだい けんりよく まえ きょうふ きぼう うしな たす もと さけ
強大な権力の前で恐怖にとらわれ、希望を失い、助けを求めて叫
ぶばかりでありました。

かみ こうどう うなが ぜんしん もと やみくも
神は、モーセに、行動を促します。前進せよと求めます。ただ闇雲な
ぜんしん かみ じしん せんとう た き ひら みち ゆうき も
前進ではなくて、神ご自身が先頭に立って切り開く道を、勇気を持って
あゆ つ
歩めと、告げるのです。

ふっかつ できごと しる ふくいんしょ ふっかつ ことば しる
復活の出来事を記す福音書は、復活されたイエスの言葉をこう記して
います。
おそ い わたし きょうだい い い
「恐れることはない。行って、私の兄弟たちにガリラヤに行くように言
いなさい。」

うしな でし らくたん ふあん おそ きぼう うしな
イエスを失った弟子たちは、落胆と、不安と、恐れにとらわれ、希望を失
っていたことでしょう。

おそ ふあん でし たい た あ たびだ
恐れと不安にとらわれた弟子たちに対して、「立ち上がり、ガリラヤへと旅立
て」とイエスは告げます。新 しいいのちを生きる希望の原点に立ち返り、
たびじ あゆ ゆうき つ
旅路を歩む勇気をあらたにするようにと告げています。

しゅ し ふっかつ もと あんじゅう ち
主の死と復活にあずかるわたしたちに求められているのは、安住の地に
とどまることではなく、あら ちようせん たびだ くなん なか
新たな挑戦へと旅立つこと、そして苦難の中に
せんとう た しゅ ゆ しんこう ゆうき え
あっても、先頭に立つ主への揺らぐことのない信仰にあって、勇気を得な
ら、こんなん た む あゆ つづ
がら、困難に立ち向かい、歩み続けることであります。

あゆ つづ しんこう
たったひとりで、歩み続けるのではありません。わたしたちは、ひとりで信仰
い からだ きょうどうたい
を生きているのではなく、キリストの体である共同体のぎずなのうちに
しんこう い ひつよう
信仰を生きています。いまこそそのぎずなが必要です。

こんなん じょうきょう ただなか きき ちよくめん
困難な状況の直中で、いのちの危機に直面しているわたしたちは、
まも ゆうき も ぜんしん はじ まね
すべてのいのちを守るために、勇気を持って前進を始めるように、招かれ
ています。

じたい しゅうそく さまざま たちば かんせんしょう たたか かた
この事態を終息させるために様々な立場で感染症と闘っている方
がた とく せいじ いりょうせんもんしよく かたがた じっさい びょうき
々、特に政治のリーダーたち、医療専門職の方々、実際に病気と
たたか かんじゃ いの きぼう かか
闘っている患者のみなさんのために祈りましょう。いのちの希望を掲げ
いの ちから れんたい
ることができるように、祈りの力で連帯しましょう。

まも にちやけんめい どりよく ひと うえ
いのちを守るために、日夜懸命に努力をされているすべての人の上に、
かみ まも いの
神の守りがあるように、祈りましょう。

しゃかいてきじょうきょう けいざいてきじょうきょう きき ちよく
また社会的状況や経済的状況によって、いまいのちの危機に直
めん ひと いの
面しているすべての人のために、祈りましょう。

イスラエルの民の先頭に立って、奴隷状態から解放された神が、わた
したちを善なる道へと導いてくださるように、祈りましょう。

復活された主イエスが、わたしたちに勇気を与え、共に助けあっているの
ちを守る道を歩み続けることができるように、祈りましょう。

神からの賜物であるいのちが守られるように、いまこそわたしたちの祈り
と連帯と心配りが必要です。復活された主イエスの、新しいいのち
への希望の光が必要です。